

染織アトリエ Kazu

- 物件名：染織アトリエKazu
- 住所：色内1-10-23
- 電話：22-8544
- 所有者：株式会社ロイズコンフェクトHD
- 運営者：おたる織物株式会社
- 主任と人員：寺岡和子（代表取締役）、7人
- 建物履歴

明治30年頃 寿原小間物店倉庫として建設
 昭和後期 松田ビルが所有 賃貸でレストラン営業
 平成4年 おたる織物株式会社が賃貸アトリエ開業
 平成10年 株式会社ロイズコンフェクトHDが所有

※寿原一族

富山県砺波郡福岡出身の寿原弥平司が明治14年に来樽し、有幌町で瀬戸物店を開業。弟猪之吉は堺町に和洋小間物店を明治21年開業、その弟重太郎は明治31年洋品・缶詰店開業。大正元年には猪之吉が寿原合名会社を設立し、昭和5年息子英太郎が市議会議員、昭和7年衆議院議員、昭和22年小樽市長に、養子九郎は昭和9年に小樽無尽に入り、昭和23年北洋銀行の社長就任。

■外観

- ①屋根／すがもり発生の都度瓦屋根修理
- ②開口部／正面に見学できるための大きな開口部設置
- ③庇／正面入口に庇設置
- ④札幌軟石壁／軟石造は石の中に空洞があることから、室内を一定の温度に保つ。冬温かく夏涼しいため倉庫や蔵に向く。

■内観

- ①柱と梁／創建時のままであえてむき出ししている。
- ②壁／漆喰壁の表面に度重なるすがもりによる傷みを隠すため、漆喰風クロス貼り。
- ③階段／創建時の階段に手摺りを付設。

■内容

若い頃から学び修練してきた「染め」「織り」技術の教室を、新光町で開き、全道から生徒が集う。昭和62年堺町におたる織物株式会社設立開業、平成4年に現在地に移転。
 当初は小樽らしさを表現するために麻を用いた。海の青を中心に染織の世界を広げる。外の音が聞こえず、湿度を一定に保つ木骨石造倉庫は制作に相応しい。

■コンセプト

寺岡代表はこれまで国画展入選、全道展入選、全道展奨励賞受賞、現代工芸展入選などの経歴を持ち、女流工芸一の会設立、北海道東海大学芸術工芸部デザイン科非常勤講師、日本伝統工芸職人展参加などを歴任。

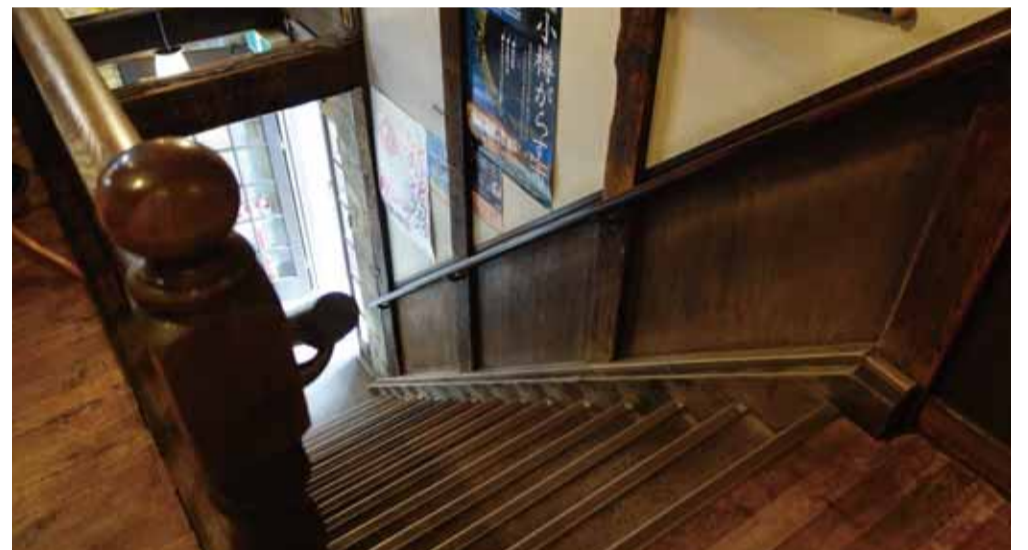
「おたる織物」文化を生活に根ざすことを推進。

■客層

お客様の多くが観光客。全国の百貨店等の北海道物産展・職人展に出展。全国からお客様が北海道旅行の際にご来店。最近では、外国人の方や豪華客船の旅行者、長期滞在者のお客様が増えている。



外観



重厚感ある階段



階段部分の吹き抜け



ワイルドな湾曲の梁も生かす

染織アトリエ Kazu



梁と漆喰壁を生かした2階店内



ディスプレイにもアート感覚が



1階染め工房



粋な店外ディスプレイ



2階織り工房



寺岡和子代表